



ひかり保育園 R6.3



3月になり今年度もあと1ヶ月となりました。保護者のみなさまにはいつもご理解とご協力をいただき感謝しています。今年度もありがとうございました。

年長たいようぐみは保育園生活を終え、いよいよ小学生になります。子どもたちは楽しみと少しの不安を感じていることでしょうか。そして保護者の方々は小さかった時から今までのことを振り返り、感慨深く思っているのではないのでしょうか。

今年度、子どもたちが今のクラスで過ごす日々は残り1ヶ月となりました。毎日を元気に楽しく、そして丁寧に過ごしていきたいと思えます。



3月の予定

- 1日 (金) ひなまつり会・誕生会
絵本貸出日 (ほし・そら)
- 5日 (火) 年長お別れ会
- 7日 (木) ひかりクリーンデイ
- 7日 (木) ~8日 (金)
絵本貸出日 (にじ・しずく)
- 8日 (金) 年長思い出会
- 11日 (月) 内科検診
身体測定の日
- 12日 (火) 英語
避難訓練
- 13日 (水) 剣道
- 14日 (木) ホワイトデイクッキング
(たいよう・つき・ほし男の子)
- 15日 (金) お弁当の日
たいよう思い出遠足
(フォーゲルパーク)
- 21日 (木) 卒園式リハーサル
- 23日 (土) 卒園式
- 27日 (水) 修了式
- 28日 (木) 休園
- 29日 (金) 新年度準備希望保育
(希望者はお弁当持参)



【内科検診について】

『健康診断個人票』を来週お渡ししますので、ご記入のうえ、11日(月)の朝までに持ってきてください。健診結果は、園医さんに記入してもらった後お渡しします。**園医さんの下の空欄に保護者さんの氏名・確認印をして持ってきてください(新しい書式の方は欄があります)**。受診の必要のある方は、各自かかりつけ医または園医さんを受診してください。

【修了式について】

今のクラスで過ごす時間も残りわずかです。修了式では、この一年で体も心も大きく成長した子どもたち全員に証書を渡します。

【お知らせ】

- ★23日は卒園式です。前日の22日(金)は準備のため延長保育はありません。
- ★年長さんの卒園式後の保育は27日(水)までです。
- ★29日(金)の希望保育の日は延長保育はありません。



2月17日(土)、うらら館において出雲市認可保育所(園)保護者会連合会主催の講演会がありました。みなさんご存知のように、今年度はひかり保育園たいようぐみの松本さんが会長を務められ、先日の講演会が出雲市への陳情に次ぐ大きな活動の一つでした。加盟園40園から保護者さん・保育士さんが約110名集まり、大盛況の催しとなりました。その時のアンケートにたくさんの感想があり、それを読んだだけでも有意義な時間だったことが伝わり、事務局としても嬉しく思いました。原文のままお伝えしますので読んでみてください。



0歳からの妊活 ~健康な命を繋ぐために大切なこと~

整体院kahana代表

future labo GOEN代表 島津 偉臣 氏

○今日の講演会をお聴きして、親子関係が後々の人格に影響を与えていくことを改めて認識できました。日々の忙しさで子どもの言うことをしっかり聞いてあげられなかったり遊んであげられなかったりしたので、しっかり向き合うことが大事だと思いました。(保護者)

○子どもを育てる前に、まずは大人が自分の存在を認めてあげることが大切だということと子どものうちに依存させてあげることの大切さを学びました。(保護者)

○子育てをする中で、自分が受けた育児を思い出して(結果が出た時だけ褒められる。そうでないと叱られる)自分も似たような育児をしないように必死にやっていたのですが、結局自らが自分を認めてあげていない(自分が親に認められていない)→わが子を認めてあげられないのかなあと痛感しました。子どもは敏感だと感じたので、今日から意識していこうと思いました。

(保護者)

○妊活の話かと思っていましたが、子育てに関するお話で、参考になりました。身体・心・栄養…子どもから大人…全てが繋がっているということなど勉強になりました。(保護者)

○妊活=親子だけではなく、地域全てに役割があるということ。(保護者)

○テーマを見て「？」と思いましたが、すごく身近に感じることができました。「いつからでも変えられる」を励みに、まず、私(自分)を大切にみつめ、わが子や関わっている子どもたちに対しての接し方を考えてみようと思いました。(職員)

○イヤイヤ期の話の中で、「それでも自分を受け入れてくれますか？」というフレーズが、丁度イヤイヤ期の息子の声のように聞こえてドキッとしました。息子は、親が見放さないか確認作業をしている、と捉えるとイヤイヤの対応で困った時も、少し大きな心で息子を受け入れながら、ゆっくりと関わり、「甘えられた」と思えるように関わっていきたくと思いました。

(保護者)

○日々、子育てに仕事に家事に…頑張っている保護者の方の大変さを感じながら仕事をさせてもらっています。今回のお話で、子どもにとってママの笑顔が一番大切ということを知りました。子どもを信じて待つこと、子育てを楽しんでもらえたらと思います。ご自身の体験から良いお話をきかせてもらいました。ありがとうございました。(職員)

○『自立=親子関係の完了』という言葉が印象に残りました。早く自立してほしいからといって突き放すのではなく、思いを受け止め、ありのままの姿を認め、たくさん甘えさせてあげることが大切なんだと思いました。また自分を認めてあげられるそんな人になりたいなあと素直に思いました。

○今まで、子どもに自立してほしいから早くから自分で何でも出来るように、手を出さず、言葉のみを伝えていましたが、なかなか出来ない、それを見てイライラしてしまい、怒ってしまうということやずっと繰り返していましたが、お話を聞いて自立するためには依存させてあげないと自立に向かわれないんだと感じました。土台に愛着関係がないと何も成り立たない…そこから進めていかないといけないなと思いました。(保護者)

○仕事に家庭に忙しく、パート職員になろうかと悩んでいましたが、今自分がすべきことについて、今日の講演会で糸口が見つかった気がします。ありがとうございました。(職員)